

トレーニング ドリル

「姿勢づくり」「正しい姿勢で走る、歩く、立つ、座る」と言われてもよく分からない人は多いでしょう。「専門家に見てもらうと行ってもどこへ行けばいいの?」。怪我や痛みがあれば、病院や治療院に通うことでの自分の姿勢について教えてもらえることはあるかも知れませんが、まだ体力や姿勢について傷害予防レベルでの健康管理法は普及していません。

今回からスポーツ選手に

柔軟チェックをしてみましょう。今回は「前屈」チェックです。気をつけの姿勢から上体を前に倒します

II 写真②。手がどこまで届きますか?

硬い(手が床に届かない)

「姿勢づくり」「正しい姿勢で走る、歩く、立つ、座る」と言われてもよく分からない人は多いでしょう。「専門家に見てもらうと行ってもどこへ行けばいいの?」。怪我や痛みがあれば、病院や治療院に通うことでの自分の姿勢について教えてもらえることはあるかも知れませんが、まだ体力や姿勢について傷害予防レベルでの健康管理法は普及していません。

傷害予防の健康管理

行っているコンディショニング(健康管理)を、一般の人々が取り組みやすい形で紹介します。

状態見て無理無い範囲で

①〈柔軟チェック〉
とても柔らかい(手の平が床につく)もし問題があれば、体幹の筋力強化を

②〈健康アップ体操〉
とても硬い(手が床から30cm以上)けが人レベルで

③〈柔軟チェック〉
普通(指先が床につく)
基礎体力レベルです。日常生活にゆとりのある身体を目標しましょう。

1~2カウントで頭を下

行っているコンディショニング(健康管理)を、一般の人々が取り組みやすい形で紹介します。

とても柔らかい(手の平が床につく)もし問題があれば、体幹の筋力強化を

とても硬い(手が床から30cm以上)けが人レベルで

普通(指先が床につく)
基礎体力レベルです。日常生活にゆとりのある身体を目標しましょう。



日暮恭子さん 東京都出身。共栄学園高からアメリカ留学などを経て、ATC(全米アスレチックトレーナー協会公認トレーナー)取得。バスケットボール選手として金沢大学体育協会(NCAA)ディビジョン1でのプレー経験もある。1978年生まれ。35歳。